

リアルタイムで計測

ワーク温度

山本金属製作所がツール

山本金属製作所（大阪市平野区、山本憲吾社長、06・6704・1800）は、工具先端に付けたセンサーで直接加工中のワークの温度をリ

アルタイムで計測できるツール「マルチインテリジェンスII写真」を開発した。最適な加工条件の分析や加工プロセスの評価などに活用できる。切

削用と摩擦攪拌接合（FSW）用の2種類で、価格は350万円（消費税抜き）から。鉄道車両や重工メーカーなど向けに提案活動する。

ツールホルダー内部に電池と送信機、コントローラー、アナログ・デジタル変換回路、アンプを内蔵した。電池は充電式。0・1秒の誤差で工具先端部の温度を把握し、無線でパソコンにデータを送信する。取得し

たデータは加工履歴管理などにも応用可能で、航空機用部品など厳しい品質管理が必要な加工にも向くという。ツールは代理店を通じて販売する。

今後は温度センサーに加え、圧力や振動センサーなども内蔵できるようにする。「モノのインターネット（IoT）の進化に不可欠なツールになれば」（山本社長）と期待を寄せている。

8日から東京・有明の

東京ビッグサイトで開かれる高機能素材の展示会「第2回高機能金属展」に出展する。

